



2022年8月8日

各位

会社名 株式会社イトーキ
 代表者名 代表取締役社長 湊 宏司
 (コード：7972 東証プライム)
 問合せ先 取締役常務執行役員 管理本部長 森谷 仁昭
 (TEL. 03-6910-3910)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 120,000	百万円 3,000	百万円 2,900	百万円 1,400	円 銭 30.96
今回修正予想(B)	123,000	4,000	4,000	2,700	59.63
増減額(B-A)	3,000	1,000	1,100	1,300	28.67
増減率(%)	2.5	33.3	37.9	92.9	92.60
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	115,905	2,560	2,437	1,116	25.82

修正の理由

売上高では、当上半期において特に設備機器・パブリック事業の連結子会社である株式会社ダルトンが大型受注対応等により販売拡大し、さらに当下半期においては主にワークプレイス事業でオフィスのリニューアル商談が増加傾向にあることから、当初予想よりも増収となる見通しとなりました。

利益面では、前述の販売増の効果に加え、構造改革プロジェクトでの改革・改善活動を背景とした売上総利益率の改善及び販売費及び一般管理費の圧縮効果と、不採算事業の見直しによる利益改善が想定以上に順調に進捗したことから、当上半期において当初予想を大きく上回る結果となりました。当下半期においては、昨今の国際情勢不安に起因する円安や原油高等によるコストアップの見通しや、DX推進のためのIT基盤強化等の戦略的な支出増の計画がありますが、上半期までの体質改善効果が継続することにより、概ね前年並みの水準は維持できるものと考えております。また、特別損益に関しては、2022年5月13日に開示の通り、当第1四半期において債務免除益779百万円を計上しました。これらの状況を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、当初予想よりも増益見込みとなりました。

上記により、2022年12月期 通期連結業績予想数値を修正いたします。

以上